

- 人口減少・高齢化の進展が見込まれる中でも、長期的に都市活力を維持するため中心市街地と15の地域拠点を利用性の高い公共交通で結ぶ「**多核連携都市**」を都市の将来像として位置づけ。
- その実現に向け都市機能集積や居住誘導を図る区域等を示した「**熊本市立地適正化計画（H28.4）**」を策定
- 今回、**施策展開の方向性等の盛り込みや防災視点の強化等**を目的とした**改定(素案)に対する意見聴取を実施**

1. ご意見への対応について（案）

令和2年12月25日～令和3年1月25日の期間(32日間)にパブリックコメント(ご意見計19件)を実施。この他、令和2年第四回市議会都市整備委員会、第43回都市計画審議会 などにて意見聴取を行い、**計31件**のご意見をいただいた。

対応分類	主な対応・考え方	件数
対応1 補足修正	・本市の公共交通体系に関する記載に現状を踏まえた公共交通の課題を追記 ・本市で導入しているコミュニティ交通に関する事例を追記 ・地図の見易さ改善や文言追記等	9件
対応2 既記載	・地域特性を踏まえた地域拠点づくりや公共交通施策の重要性に関する意見については、「第7章具体的な施策」に既に記載	11件
対応3 説明しご理解 いただくもの	・市電の廃止を求める意見に対し、重要な基幹交通としてサービス向上に努める旨説明	3件
対応4 事業実施段階で 参考とするもの	・タブレットを用いたハザード情報の共有など災害リスクの周知方法に関する意見も踏まえながら、関係部局と連携し周知を図っていく。	7件
対応5 その他	・環状道路の整備を要望する意見について担当部署と共有	1件

2. 今後の立地適正化計画の推進について（案）

- 素案に対する意見を反映させた改定(案)を取りまとめ今年度中の改定を行う予定
- 来年度以降も、市民の皆様への周知に加え、地域拠点の機能強化に向けた施策検討や、関係部局と連携した災害リスクなどの共有を図りつつ、各種施策の展開及び進捗管理を実施

